

表1-3 森林の整備・保全の考え方

区 域	森林の整備・保全の考え方	施業種
維持増進森林 木材生産機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な保育及び間伐の実施を推進します。 ・ 施業の集約化や機械化による効率的な施業を推進し、計画的な伐採による木材の安定供給に努めます。 ・ 木材生産機能の維持増進を図るため、伐採後は有用樹種により確実かつ早期に再造林します。 	通常伐期
公益的機能別施業森林	<p>水源涵養機能 進森林</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採に伴う裸地面積の縮小・分散を図ります。 ・ 下層植生の維持や根系の発達を確保するため、適切な保育・間伐を推進します。 ・ 木材生産機能を併せ持つ森林の区域は、伐採後は有用樹種により確実かつ早期に再造林します。 ・ 林業経営上採算性に問題のある森林の区域は、皆伐を控え、天然力を活用した針広混交林に誘導します。 ・ ダム等利水施設の上流部において、水源涵養機能が十分に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進します。 	伐期の延長
	<p>山地災害防止／土壤保全機能維持増進森林</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採に伴う裸地面積の縮小・分散を図ります。 ・ 特に、県民生活を守る機能を発揮させる必要がある森林は、択伐施業を推進します。 ・ 下層植生の維持や根系の発達を確保するため、適切な保育・間伐を推進します。 ・ 木材生産機能を併せ持つ森林の区域は、伐採後は有用樹種により確実かつ早期に再造林します。 ・ 林業経営上採算性に問題のある森林の区域は、皆伐を控え、天然力を活用した針広混交林に誘導します。 ・ 山地災害の発生の危険性が高い森林において、土砂の流出の防備等の機能が十分に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進します。 ・ 溪岸の侵食防止や山脚の固定等に必要な谷止や土留等の施設の設置を推進します。 	長伐期／複層林／択伐による複層林

公益的機能別 施業森林	快適環境形成機能維持増進森林	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風や潮の害を防ぎ、砂の移動を抑える働きをする森林では、皆伐を避けます。また、松くい虫被害の拡大を防止するため、内陸側でクロマツ以外の広葉樹等への樹種転換が可能な区域では、積極的に樹種転換を進めます。 ・ 木材生産機能を併せ持つ森林の区域は、伐採後は周囲の自然林等との調和を図った有用樹種による早期の再造林に努めます。 ・ 生活環境の保全のため、保安林の指定やその適切な管理を推進します。 ・ 地域の快適な生活環境を保全するため、所有者、地域住民、行政及びNPO等との協働により、適切な保育・間伐を進めます。 	長伐期／ 複層林／ 択伐による 複層林
	保健文化機能維持増進森林	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採に伴う裸地面積の縮小を図ります。 ・ 間伐を繰り返し、複層林や自然力を生かした混交林に誘導します。 ・ 木材生産機能を併せ持つ森林の区域は、伐採後は周囲の自然林等との調和を図った有用樹種による早期の再造林に努めます。 ・ 保健・風致の保存等のため、保安林の指定やその適切な管理を推進します。 ・ 特に地域独自の景観等の形成が求められる森林においては、風致の優れた森林の維持又は造成のため、特定の樹種の広葉樹を育成する施業を行います。 	特定広葉樹の 育成

